

# 知性と情操をはぐくむ女子総合学園に

尚絅大学・尚絅大学短期大学部  
学長 森 正人

## プロフィール

昭和23(1948)年9月、鹿児島県に生まれる。熊本大学法文学部卒業、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了、同博士課程を経て、愛知県立大学講師、助教授、熊本大学文学部助教授、教授、同大学院社会文化科学研究科教授を務め、熊本大学名誉教授。博士(文学)。平成27(2015)年4月、本学学長に就任。専門は日本文学。主要著書は『今昔物語集の生成』(和泉書院 1986)、『今昔物語集五』(岩波書店 1996)、『源氏物語とものけ』(熊本日新社 2009)、『場の物語論』(若草書房 2012)

## 学内に息づく“尚絅の心”

— 今年4月に学長に就任されました。まずは、ご心境と大学の印象をお聞かせ下さい。

本学は、共学化という道を選ぶことなく、女子総合学園として長い歴史を歩み、社会で活躍する女性リーダーを育ててきました。学長という立場は、学生に大きな影響力を持たざるを得ませんから、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

キャンパスを歩くと感じますが、学生たちがお客様に対してにこやかに挨拶をするなど、細やかな気配りができる学生が多いと感じます。そのような細やかな気配りは、誰が教えるわけでもなく、心の持ちようや育ち方に大きく関わっています。ご存じのとおり「尚絅」という言葉には、「内側に立派な錦を着ていても、薄衣で覆うことによって、きらびやかな模様を誇らしげに表に出さない」という意味が込められています。このような建学の精神が、教職員を含めて、学園の皆さんに空気のように浸透しているのだと感じます。

## 女性が得意とする分野で、社会の核となる優秀な人材を輩出していくたい

— 社会環境の変化にともない、女性が担う社会的役割が変わってきています。127年の伝統を持つ尚絅学園が、果すべき教育の役割についてお聞かせ下さい。

人類の長い歴史の中で、女性は大きな役割を果してきました。複雑で変化の激しい現代社会では、さらに女性の参画が期待され



ています。本学は、古き良き伝統を受け継ぎつつ、保育士、幼稚園教諭、栄養士など、女性が得意とする分野に優秀な人材を多数輩出しており、さらに高い知性と豊かな情操を備えた自立・心豊かな女性の育成を目指します。

## さまざまな思想に触れ、友人たちと意見を戦わせた大学時代

— 森学長の学生時代についてお聞きします。どのような大学時代を過ごされましたか?

大学に入った頃は、勉強だけでなくアーチェリーの部活に励みました。2年生の11月頃から学生紛争が始まり、学生のストライキで授業ボイコットが長期にわたり、その間は下宿にこもって本を読んだりしていました。わたしの専攻は日本文学なのですが、哲学や社会科学など、専門以外の分野の本もたくさん読みました。当時は「学生ならば、読んでおかなければならない本」と暗に目されているような本が何冊かありましたね(笑)。さまざまな思想や本について、一晩中友人たちと青臭い議論をするようなこともありましたね。

## 研究を通じて、地域社会に貢献する大学でありたい

— 森学長は研究を通じて地域に貢献する活動の幅を広げていらっしゃいます。地域における大学のあるべき姿や、それに対する学長の思いを教えて下さい。

今まで「尚絅子育て研究センター」「尚絅食育研究センター」そして「尚絅ボランティア支援センター」を置き、社会貢献を通して人材育成を行ってきました。今年4月には「尚絅地域連携推進センター」を設置し、これらの3センターの機能を包括的に利用できるようにして、大学の研究を礎に、より一層人材育成やまちづくり・地域づくりに貢献できればと思っています。これまで、文化言語学部の学生たちが、大津町議会の広報誌である「議会だより」を協働で作成するなど連携を強化した結果、6月には文化言語学部が大津町議会と連携協定しました。引き続いて、大学及び短期大学部が子育て、食育などを重点テーマに連携強化を図るため、合志市、菊陽町との包括協定を結びました。

今後さらに地域住民の皆さまとともに、多様な地域連携の事業をコーディネートしていきたいと思っています。

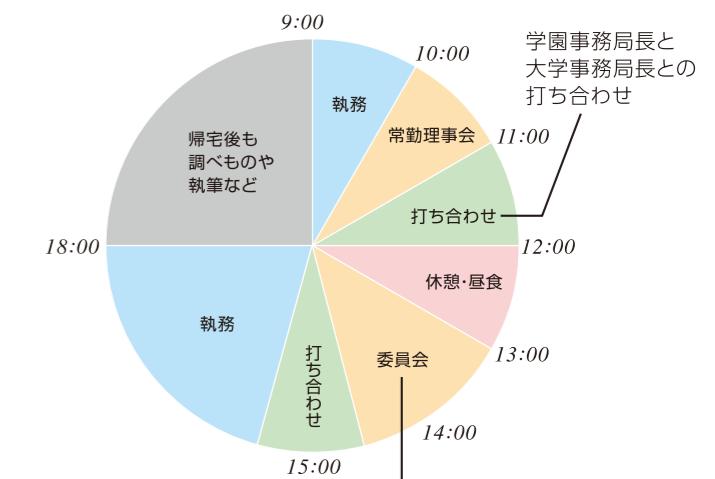
## 学生みずからが、学ぶという姿勢を身につけて欲しい

— 学生に望むことや、励ましのお言葉などを、メッセージでお願いします!

今後、専門分野が細分化し、さらに高度な技術を持つ女性リーダーが求められる時代が到来すると考えます。大学とは、学び続ける姿勢の基礎を作る場です。学生たちは、卒業後も、みずから考え、学び続ける学びの主体であり続けて欲しいと願っています。本学で学修し続けていく姿勢こそが、卒業後の実践を確かなものとし、生涯にわたる学びと成長を約束してくれることでしょう。

密着!!

**森学長とのある一日**  
学園のために奔走する森学長の一日に密着しました!



平成27年度第3回ホームカミングデイ実行委員会



11/22(日)開催のホームカミングデイに向けて打合せ中

森正人学長の素顔に迫る

# すばり突撃! 森学長って、 こんな人!



Q.家族構成は?

A.妻と長男、次男の4人家族で、現在は妻、次男と3人暮らしています。以前は犬を飼っていました。

Q.趣味は?

A.囲碁のテレビ番組を見ることです。趣味ではありませんが、妻が手を痛めているので、夕食の野菜を切るのを手伝ったりもしますよ。

Q.好きな食べ物は?

A.フルーツが好きです。毎朝、キウイフルーツ、リンゴ、バナナなどを切って、ヨーグルトに混ぜて食べています。

Q.休日の過ごし方を教えて下さい。

A.温泉に行くのが好きです。よく行くのは菊池市の温泉で、帰りに物産館に寄って野菜などを買ったりします。また、平日にできなかった論文の作成や、調べものをしたりしています。

Q.一日の中で、一番好きな時間は?

A.朝です。6時に起きて庭に出て、花を眺めたりしていると気持ちよくて、「今日も一日頑張ろう」という気分になります。

Q.好きな言葉は?

A.囲碁須解局前無人局上無石(囲碁はすべからく局前に人無く、局上に石無しと解すべし)。これは江戸時代の棋士十一世井上因碁の『囲碁妙伝』の序文の一節です。囲碁を打つには碁盤の前には相手もない、自分もいない、また盤上に碁石さえない境地を求めよという意味です。このように己を空しくすることはとても難しい。しかし、合理主義や功利主義がかえって現代の人類と社会に困難をもたらしていることを考えれば、こうした古典知はとても貴重なものに思えます。

Q.自分を動物に例えると?

A.ネコですね(笑)  
あまり人と馴れあわないようなところが、ネコっぽいと思います。

Q.苦手なことってありますか?

A.人見知りで緊張しやすい性格なので、自分からはなかなかしゃべりかけられないんです。学内で見かけたら、声をかけて下さい(笑)

Q.好きな有名人は?

A.「NON STYLE」や「ナイス」が好きです。お笑い番組はけっこう見るんですよ(笑)